

第6回廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会に参加して

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平成23年10月25日（火）にて開催された「生活と環境全国大会」において、第6回廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会がありました。

群馬技管協からは、中島 茂が会長感謝状を贈呈され、「環境技術会誌」の年間論文優秀賞を清水事務局長が受けましたので、その概要をご報告いたします。 敬具

記

第6回廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会

開催日：10月25日（火）9:50～15:30

場所：宮城県仙台市 仙台国際センター

主催：財団法人日本環境衛生センター、併催：一般社団法人廃棄物処理施設技術管理者協議会

参加者：群馬技管協より、中島 茂氏、清水事務局長の2名

内容： ●テーマ：「第6回廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会～3.11大震災を乗り越えて」

3月11日に発生した東日本大震災の被害は、大規模地震の被害だけでなく、沿岸の町並みを根こそぎ流し去った大津波、さらに原発放射能の極めて甚大な影響を与えました。ニュース・新聞で復旧に向けての対応が伝えられていますが、今なお厳しい状況が続いていることが伺えます。

今回の発表では、我々廃棄物処理に係る人たちが大震災のその時どう生き延び、どう立ち向ったかがひしひしと伝わってきました。大量に発生した被災ごみの計画的一時保管と分別化、被災ごみの仮設焼却炉（ダイオキシン類対策を講じた本格的な設備）の建設と、着実な復旧・復興の動きを感じ取ることができました。

全部で11題あった発表の中から、2題をピックアップして本報告に添付いたします。

1. 「東日本大震災による施設の長期停止対応と復旧に向けて」
2. 「東日本大震災における災害家庭ごみ仮置き場の運営管理」

地震・津波災害の激しさと、困難を極めた後処理対応が記されています。

- 会長感謝状贈呈式：群馬技管協の中島 茂氏（今井前橋資源（有））に感謝状が贈呈されました。



←寺島会長より感謝状を贈られる今井氏

- 年間論文賞授与式：群馬技管協の清水事務局長が、年間論文賞優秀賞を授与されました。（「環境技術会誌」第142号「廃棄物処理施設の省エネ運転のための電力把握と数値化」）